

授業概要

資源の保護・保全、自然との共生、循環型地域社会の実現など、「環境」問題が地球規模での優先課題となっています。環境と観光は密接な関係にあり、地球温暖化、ゴミ、食糧問題など幅広く学びます。授業では観光ビジネスと自然環境保護・保全の在り方を、いろいろな例を見ながら考え、持続可能(サステイナブル)な観光について講義します。

授業計画

第 1 回	授業オリエンテーション
第 2 回	エコツーリズムの位置付け（マスツーリズムからニューツーリズムへの動き）
第 3 回	ニューツーリズムの範囲（グリーン、ブルー、エコ、スポーツ、ヘルス、産業観光など）
第 4 回	エコツーリズムの定義とエコツーリズムの時代背景
第 5 回	エコツーリズム推進法とエコツアーの在り方
第 6 回	観光資源（自然資源・文化資源・地域資源）の理解と日本の国立公園の歴史と現状
第 7 回	自然観光資源の保護・保全の在り方
第 8 回	SDGs 持続可能な開発目標（サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズ）における観光業界に関する目標
第 9 回	サステイナブル・ツーリズム（持続可能な観光）の在り方
第 10 回	サステイナブル・ツーリズム海外事例研究（世界一グリーンな都市の実現）
第 11 回	ナショナル・トラスト活動
第 12 回	世界遺産条約、ラムサール条約、ジオパークなど環境保護に関する取り組み
第 13 回	観光業界の環境への取り組みを旅行会社・航空・鉄道会社を例に研究
第 14 回	企業と環境問題（世界的企業のナイキ、ネスレ、ニュージーランド航空などの環境保全に対する取り組み事例を研究）
第 15 回	オーバー・ツーリズムによる観光公害と環境問題
第 16 回	課題提出または定期試験

到達目標

自然資源の保護・保全と持続可能な観光の在り方を理解でき、また地球規模の環境問題に興味を持って、日常からゴミ、食糧、水、脱炭素社会など身近な環境問題を意識し行動できるようにすることが目標です。

履修上の注意

テレビや新聞などの情報を、日頃から身近なものも含め環境問題に興味を持つこと、考えることが必要です。

予習・復習

前回の資料を復習し、次回の授業に備えてください。

評価方法

課題または試験（60％）授業態度（40％）を総合的に判断し、評価します。

テキスト

使用しません。必要な資料はその都度配布します。
また授業予定の順序は変更になることがあります。